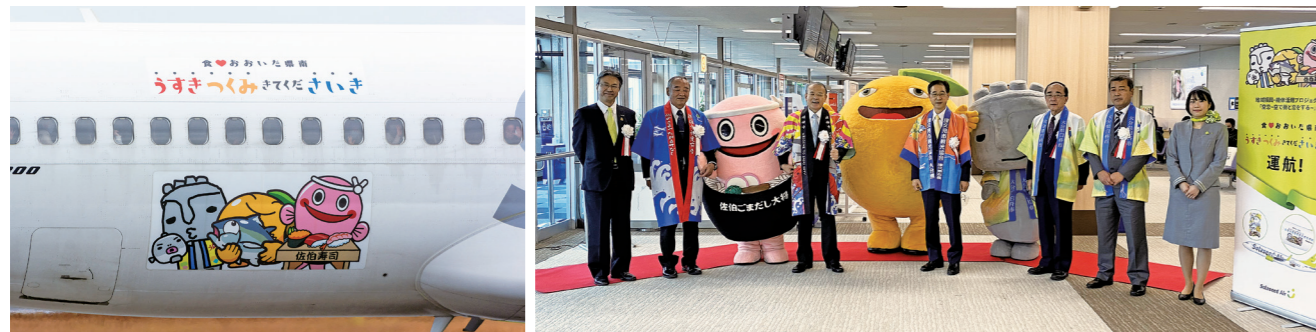


空恋プロジェクト『食♡おおいな県南 うすきつくみきてくださいき号』10月17日から運行開始



10月17日、大分空港で「地域振興・機体活用プロジェクト～空で街と恋をする～(通称:「空恋」)大分県南エリアによる「食♡おおいな県南 うすきつくみきてくださいき号」の運航開始セレモニーが催されました。  
この取り組みは、(株)ソラシドエアの「大分-東京(羽田)線就航10周年事業」の一つとして、臼杵市×津久見市×佐伯市の県南三市が連携し、臼杵のふぐ、津久見のマグロ、佐伯の寿司を盛り込んだ三市のマスコットキャラクターのイラストをラッピングした飛行機が、1年間全国を飛び回り、三市の魅力を発信していくものです。この日は、記念セレモニーの実施や搭乗者に記念品を配布したほか、東京に向かう飛行機を見送りました。

第41回 津久見市絵画美術展



10月14日から18日までの5日間、市民会館で「第41回津久見市絵画美術展」が開催され、油絵や水彩画、色鉛筆画など70点の作品が展示されました。10月13日には表彰式が行われ、今年は11名の方に賞状が手渡されました。

市長賞	「忘れられた物」	土谷スミエ
市議会議長賞	「ベッキオ橋」	宗 弥生
教育長賞	「ぼたん」	仲尾 和子
商工会議所会頭賞	「てんとう虫」	小手川和子
文化協会賞	「横断歩道」	大宅 満
市美術協会賞	「六年生のお兄さん」	石井 純子
市美術協会賞	「赤い実」	石堂 輝美
市美術協会賞	「初寄りの日」	岩崎カツエ
市美術協会賞	「さつまいも」	岡田タマエ
市美術協会賞	「いつかの私といまの私」	下田 由文
市美術協会賞	「休漁中」	長渡 清伸

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。

令和2年度大分県立埋蔵文化財センター企画展  
大友氏の栄華Ⅳ「BVNGO NAMBAN 宗麟の愛した南蛮文化」



企画展会場 能楽堂で演奏する合唱団

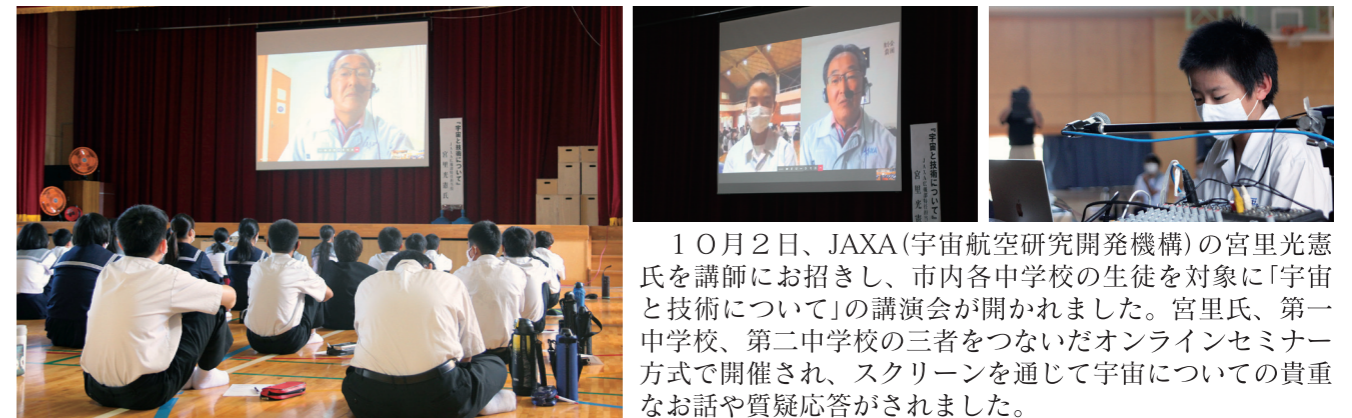
10月10日(土)津久見市の所蔵する南蛮関係の資料全51点ほか展示される企画展が開会しました。当日は、関連行事として大分市能楽堂でのオープニング記念講演会に先立ち、県立芸術緑丘高校生徒・教諭による弦楽四重奏と津久見榎の実少女少女合唱団の演奏が行われ、榎の実は天正遣欧使節も聴いたと云われる「聖母マリアよ、夜明けの星よ」(小川伊作氏作詞)ほか4曲を披露し、会場の皆さんから大きな拍手をいただきました。  
なお、この企画展は12月13日(日)までとなっています。

津久見市固定資産評価審査委員会委員



9月議会において、津久見市固定資産評価審査委員会委員に竹尾久信さん、久保田直さんが選任されました。  
竹尾さん、久保田さんは10月1日からの3年の任期の間、中立的な立場から固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服についての審査決定などを行います。

ISTS市町村等企画イベント事業 「宇宙と技術」オンライン講演会



10月2日、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の宮里光憲氏を講師にお招きし、市内各中学校の生徒を対象に「宇宙と技術について」の講演会が開かれました。宮里氏、第一中学校、第二中学校の三者をつないだオンラインセミナー方式で開催され、スクリーンを通じて宇宙についての貴重なお話や質疑応答がされました。

やがて心うきうき、涼しげな秋のひととき -中秋の名月祭-

10月3日、つくみん公園で「中秋の名月祭」が開催されました。  
夕方から夜にかけて、榎の実少女少女合唱団やフラダンス、バンド演奏などのステージが披露され、涼しげなひとときとなりました。  
新型コロナウイルスの影響で中止されるイベントが多い中、対策を徹底しての開催となり、街ににぎわいを取り戻すきっかけとなりそうです。



100歳のお祝い 大村 房子さん  
(10月17日生まれ)



大村房子さんが100歳の誕生日を迎えられました。誕生日当日は施設でお祝いが行われました。大村さんの御長寿の秘訣は、よく食べ、よく動くため、日ごろから病気をしないということです。これからも変わらずお元気で過ごされることを祈っています。

津久見花火師協会が  
野球用具を贈呈



10月16日、津久見花火師協会が津久見高校を訪れ、同校硬式野球部と軟式野球部に野球用具(バット9本、ボール5ダース)が贈呈されました。  
津久見花火師協会の遠藤龍也会長は、「市民の方からのがんばってという気持ちがこもった用具。それを使って益々活躍してほしい。」とご挨拶されました。

津久見市スポーツ協会激励会  
-株式会社戸高鉱業社野球部-



8月29日～31日の3日間開催された、天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント兼第10回九州市対抗軟式野球大会で準優勝の結果を残した株式会社戸高鉱業社野球部が10月6日、市役所を訪れ、大会の結果を報告されました。  
また、来る九州市対抗本戦に向けて、同野球部の新名主将が「野球のまち津久見を代表して、全員野球で戦っていきたい。」と決意を述べられました。